

ベア860円の低額回答弾劾! 東労組の裏切り妥結許すな

今春闘での決 定的な裏切り

昨日(3月28日)、JR東日本は、「ベア八六〇円(〇・二五%)」という断じて許せない超低額回答を行った。一方JR東労組はこの超低額回答に何ひとつ抵抗しようともせず、その場で受け入れ裏切り妥結した。JR東日本は「一千億円の経常利益」を豪語する会社だ。労働組合が少しでも闘う姿勢を示せばベア八六〇円などという回答は絶対にありえないことだ。断じて許せない裏切りだ。東労組・革マルは、今春闘の過程で、これまでの資本と一体化のレベルを決定的に超えて、文字通り資本の奴隷となつて革マル結託体制の維持をはかる方針に踏みきつた。「シニア協定」と、今春闘の超低額妥結は、東労組の新たな裏切りの一里塚だ。会社は会社で、「どんな回答をしても間違いない」と言うことを聞く」と足元を見透かし、東労組はそれをいい諾々と受け入れたのだ。

「シニア協定」 での大裏切り

何よりも、今春闘での最大の裏切りは、早々と3月1日の時点で最悪の「シニア制度」を受け入れたことだ。
① その第一の問題点は、年金満額支給年令の段階的引き上げという事態を前に、法律で各事業主に課せられた雇用延長の努力義務すら

否定して、JR東日本としては年金満額支給までの力ネなど一銭も払わず、関連企業への再雇用の機会の提供などという「制度」で開き直ろうとしていることであり、それを東労組が何ひとつ抵抗しようともせず受け入れたことだ。

② 第二の問題点は、40年以上国鉄「JRで働いた仲間たちに「採用試験」を行い、60歳になつてまで選別のふるいにかけるといふ、人の道にも反する卑劣な制度を会社と東労組一体でつくりあげたことにある。

③ 第三の問題点は、業務の全面的な外注化とワンセットにして、年金が支給されるまでの雇用の確保という切実な問題を、大合理化を一挙に推進する道具としてつかおうとしていることだ。

④ 第四の問題点は、高齢者の雇用を、総額人件費の大幅削減の道具としようとしていることだ。JRは一銭も払わず、逆に業務を全面的に外注化し、関連会社は百万、二百万円の高額賃金でベテラン労働者が確保できるなど、資本にとってこんなウマイ制度はない。

⑤ 第五の問題点は、60歳まで原職としながら、法でも定められていない高齢者が働き続けることのできる労働条件緩和対策を一切否定し、東労組もそのことについて一言も要求すらしていないことだ。

⑥ 第六の問題点は、出向手当二万

ベア	〇・二五%	八六〇円
定昇	一・九五%	六六六五円
合計	二・五九%	八八二七円

五千円を廃止し、高齢者の実質的な賃下げを行うなど、在職条件を悪化させていることだ。

⑦ 第七の問題点は、東労組と会社が結託して、「ぬきんでた制度」東労組以外は再雇用されないなど、ウソ八百を並べたてて組合員をだまし、また組織破壊攻撃の道具としてしていることだ。

東労組延命のため に資本の奴隷に!

そして、今春闘での第二の裏切りが、ベア八六〇円という超低額回答の受け入れである。

東労組と革マルは、徹底的に資本の奴隷となることによつて、「東労組」革マルだつてこれだけ役に立つのだから使い捨てないでくれ」と資本にアピールしているのだ。まさにJRの労働者を資本に売り渡すことによつて自らの生き残りを策しているのである。この裏切りを許すな! 超低額回答を打破して闘おう! 怒りの声でJR東労組を解体しよう。

JR貨物に再 回答を要求!

われわれは、3月28日春闘第二波貨物ストをうちぬくとともに、JR貨物に再回答要求を提出した。貨物の裏切りに怒りの声を叩きつけよう。JR貨物はベアゼロ回答を撤回しろ! 55歳以上の賃金改善を行え!